

平成28年第1回定例会

一般質問通告書

流山市議会

平成28年第1回定例会一般質問通告順

日付	順番	議員名	会派名
2月23日	1	森田洋一	新風流山
	2	菅野浩考	
	3	野村誠	公明党
	4	大塚洋一	流政会
	5	石原修治	流政会
2月24日	6	西川誠之	新風流山
	7	西尾段	新風流山
	8	戸辺滋	公明党
	9	斉藤真理	公明党
	10	加藤啓子	自由民主党
2月25日	11	小田桐仙	日本共産党
	12	野田宏規	流政会
	13	徳増記代子	日本共産党
	14	植田和子	日本共産党
	15	乾紳一郎	日本共産党
2月26日	16	近藤美保	流政会
	17	楠山栄子	新風流山
	18	阿部治正	
	19	森亮二	流政会

質問事項	要 旨
<p>1 生涯学習における専門性の推進について問う</p>	<p>(1) 少子高齢化の時代、熟年層の学習意欲は高い傾向にあり、そのニーズは多様化している。こうした中で、社会教育や生涯学習の専門性を推進するためには、学習環境の整備と支援のために、「政策企画者」(プランナー)、「演出者」(プロデューサー)、「推進者」(プロモーター)の 3 P 論に「学習計画立案者」(プログラマー)を加えて 4 P 論の重要性が提唱されている。今後、生涯学習施策を推進する上で、市職員の育成や指定管理者制度導入推進の中で、このような視点をどう認識し、施策に活用していくのか。</p>
<p>2 生涯学習における文化活動の重要性について問う</p>	<p>(1) マーケティング課が市の宣伝やプロモーション、流山本町・利根運河ツーリズム推進室が観光、それぞれの視点で賑やかしの施策を展開している。こうした施策を持続可能にするためには、文化活動とイベント、ツーリズムを結びつけていき、そのまちの魅力を定着することによって、はじめて可能になると考える。後世の人々に教科書には掲載されないような歴史的事実や地方の独自文化を引き継ぐには、語り部など、地道な活動の積み重ねが必要と思うが、その支援策について問う。</p>
<p>3 生涯学習における文化会館の活用方法について問う</p>	<p>(1) 4 7 年前にオープンした流山市文化会館は、市民の認知度も高く、これまでに多くのイベントが開催され、流山の文化の殿堂であると考えている。先日行われた高校生による演劇は演劇を学ぶ高校生が脚本から演出まで手掛けるもので、世代を問わず楽しめる内容と認識している。今後、文化会館を拠点とした、手作りで若者の表現活動を支援していく施策として、高校生による演劇大会を広げていくことについて、当局の見解を問う。</p>
<p>4 危機管理対策充実のための課題について問う</p>	<p>(1) 自然災害、人的災害それぞれの発生時における危機管理対策として、マスコミ対応の重要性をどのように位置付けているのか。</p> <p>(2) 流山市には地域防災計画、国民保護計画の主要な計画がある。これらの計画の中で、市役所内及び市民に危機管理対策の重要性をどのように周知、徹底しているのか。</p> <p>(3) 危機の前兆における情報収集、発生した被害を最小限に食い止める方策、再発防止の対策といった一連の流れが危機管理対策の上では重要と思われるが、これらについては、施策の中で、どのように位置づけ、周知をしているのか。</p> <p>(4) 危機管理対策として、これまでに出てきた課題、実施した対応策、危機的状況に対する改善策をわかりやすくそしてシンプルにまとめていき市民への周知を視野に入れて、一元管理していく必要があると思うが、当局の見解と方向性を問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う本市の教育行政について</p>	<p>(1) 平成 2 7 年 4 月 1 日に地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律が施行され、総合教育会議が全ての自治体に設置されることとなったが、その現状について当局の見解を問う。</p> <p>ア 総合教育会議においては、有識者を加えることが出来るとされているが、有識者を加える考えはあるのか。</p> <p>イ 教育大綱を策定することとされているが、流山市の総合教育会議でどのような議論がなされ策定に至ったのか。</p>
<p>2 障害者差別解消法に伴う本市の取り組みについて</p>	<p>(1) 平成 2 8 年 4 月 1 日より「障害者差別解消法」が施行される。この中に「合理的配慮不提供の禁止」は、行政機関等及び事業者が事務または事業を行うに当たり、障がい者から現に社会的障壁の除去を必要としている旨の意思の表明があった場合、その実施に伴う負担が過重でないときは、障害者の権利利益を侵害することとならないよう、当該障害者の性別、年齢及び障害の状態に応じて、社会的障壁の除去の実施について必要かつ合理的な配慮をしなければならないものとされている。本市の具体的な合理的配慮はどのようなものを検討しているか問う。</p>
<p>3 市職員組合について</p>	<p>(1) 流山市庁舎の障害者支援施設アモールでは年間 7 0 万円もの光熱水費を支払っているが、本市職員組合事務所では光熱水費を支払っておらず、市運営で公正公平な対応がされていない。近隣の柏市、野田市、我孫子市においても組合が光熱水費の負担をしており、また浦安市や千葉市など県内の自治体も組合負担に切り替えている。平成 2 6 年第 4 回定例会において質問し、部長答弁では徴収する事で引き続き協議を進めていくとの事だったが、経過について問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 認知症の早期発見のための対策について</p>	<p>(1) 認知症早期発見のための対策について、国においては平成 2 8 年度予算案で認知症施策推進総合戦略新オレンジプランに基づき初期支援チームを 3 倍に拡充する方針が決定した。千葉県の施策においては認知症検診事業を平成 1 8 年 4 月から強力に推進している。本市においても、平成 2 6 年 8 月 5 日実施の第 7 回流山市福祉施策審議会に提出された資料に、認知症への早期対応システムを含め、認知症への対応に係る検討、取り組みを推進すると記載があるが、今後の具体的な計画、数値目標はどのようなになっているのか。</p> <p>(2) 愛知県高浜市では認知症早期発見のための取り組みとして「脳とからだの健康チェック」事業を行っている。この事業は、国立長寿医療センターとの共同事業として市内在住の 6 0 歳以上の方を対象に案内状を送付しており、約 4 0 % の市民が参加し大きな成果を挙げている。そこで本市においてもこの先進的な事業を取り入れてはどうか。</p>
<p>2 市内小学校における福祉教育の充実について</p>	<p>(1) 兵庫県西宮市では、市内小学校における福祉教育の一環として、全国的に人材不足が深刻な課題となっている介護職に光を当てた介護職を知る授業を市内の小学校で実施し、大きな成果を挙げている。本市においても取り入れてはどうか。</p>
<p>3 市内の交通安全対策について</p>	<p>(1) 南流山 5 丁目地区の生活道路には通学路もあり、県道流山草加線の慢性的な交通渋滞の抜け道で進入してくる車両があり、当該自治会から大変危険との声が上がっている。この南流山 5 丁目地区一体にゾーン 3 0 の整備をすべきと思うが当局の見解を問う。</p> <p>(2) 高齢者の交通事故を防ぐための取り組みについて、以下 2 点について問う。</p> <p>ア 本市において運転免許証を自主返納している 6 5 歳以上の割合はどのような現状か。また、運転免許証を自主返納した方への優遇措置の効果をどのように捉えているのか。</p> <p>イ 運転免許証を自主返納した方への優遇措置の拡充をすべきと思うが、当局の見解を問う。</p>

質問事項	要 旨
1 トイレ整備について	<p>(1) 高齢者が屋外に出たくても気軽に利用できるトイレが少ないのでついつい家に籠りがちになるといった声や、新しく流山市に移り住んで来た子育て世代の方からも屋外の身近なところにトイレがあると便利であるといった声をよく聴く。そこで、以下の2点について問う。</p> <p>ア 流山市の屋外トイレの現状について当局の見解を問う。</p> <p>イ 公共施設や民間施設内の既存のトイレを市民トイレとして開放してもらい、一般市民が広く利用できるようにするといった他自治体で実施している制度を取り入れるべきと考えるがどうか。</p>
2 都市計画マスタープランについて	<p>(1) 平成28年2月1日の広報なぐれやまで、都市計画マスタープラン見直しを行うための市民協議会委員の募集が行われた。活動内容として年3回程度の会議を行い任期は1年間とあるが、以下の2点について問う。</p> <p>ア 具体的にどのような見直しを行い、どのように公表する予定か。</p> <p>イ 都市計画マスタープラン第5編第2章の協働によるまちづくりの推進の提案調整会議のしくみについて当局の見解を問う。</p>
3 総合計画について	<p>(1) 平成32年度から新しくスタートする総合計画の策定において、積極的に市民参加を取り入れるべきと考えるが、以下の2点について問う。</p> <p>ア 市民参加条例第3条では、市民参加は政策形成のできるだけ早い時期から行われなければならないとあるが、新しい都市計画マスタープランのスタートも平成32年である。そのため総合計画の策定は少しでも早めに行うべきと考えるがどうか。</p> <p>イ 自治基本条例で行われたP Iの手法を取り入れるべきと考えるがどうか。</p>
4 流山本町地区における交通安全対策について	<p>(1) 流山本町地区はツーリズム施策の効果などから、同地区を訪れる観光客が平成26年度は約28万人であった。ゾーン30や30km規制などによる交通安全対策について地元住民から期待の声も聴くが、以下の2点について問う。</p> <p>ア 流山本町地区における交通安全対策についての当局の見解を問う。</p> <p>イ 流山本町地区の中道においては、以前から地域住民からの交通安全対策への声が上がっているが、通学路の歩車道の白線標示や飛び出し注意などの注意喚起の道路標示の徹底を行うことは子供達や観光客への交通安全対策にもつながると考えるが当局の見解を問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 今後の公園づくりと管理について</p>	<p>(1)平成 2 8 年度実施予定の主要事業の中に遊具施設等安全対策事業があり、公園利用者の利便性・安全性の向上を図るため、市内各公園の遊具の点検作業を行い、老朽化や機能に不備のある遊具などを対象に補修、交換、補充を行うとある。平成 2 8 年度以降、公園再整備も課題の 1 つとして考えられるが、地域に愛される公園再生のために、住民参加の公園づくり計画が必要と考えるが、当局の見解を問う。</p> <p>(2)市内地域の公園管理は、一部自治会等の団体に草刈りや清掃等を委託している状況にある。今後、市内地域の公園に対して指定管理者制度を導入すべきと考えるがどうか。</p> <p>(3)平成 2 7 年第 3 回定例会において、ボール遊びができる広場の実現について一般質問し、市長から既存の公園や緑地でのボール遊びができる広場について研究するよう担当部署に指示すると答弁があった。そこで、現在の研究状況と今後の取り組みは、どのようになっているのか。</p>
<p>2 小学校の放課後校庭開放について</p>	<p>(1)流山市教育振興基本計画(案)・流山市教育大綱(案)の中に、重点目標の 1 つとして、地域とともに歩む明るく活力ある教育の推進がある。その施策として放課後の子供の居場所づくりについて以下のとおり問う。</p> <p>ア 施策に放課後の子供の居場所づくりとあるが、どのような場所や方策を考えているのか。</p> <p>イ 学校の放課後は子供たちが部活動以外に、スポーツで体を動かしたり、交流の場所として校庭開放をすべきと考えるがどうか。</p> <p>ウ 保護者で組織した管理団体が、学校の行事や使用状況を把握しながら、利用したい曜日や時間帯を学校長に報告した場合は、放課後の校庭開放をすべきと考えるがどうか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 高齢者対策について</p>	<p>(1) 高齢者介護問題について以下の点を問う。</p> <p>ア 平成27年度から平成29年度までの第6期高齢者支援計画に記載されている「介護度別に見た認定者数の推移」によると、要介護3以上の認定者数は、平成27年度の推計値が2,491人で、団塊の世代が後期高齢者に移行する平成37年度の参考値では、3,998人となり1.6倍と大幅に増加が予測されている。本市における広域型の特別養護老人ホームの整備状況を見ると、第5期、第6期と各200床である。高齢者支援計画と同様に、今後3年ごとの支援計画期間に200床ずつ増床出来るとして、平成37年度には1,476人の収容可能定員数に留まる。本市の在宅介護・施設介護サービス等を含め高齢者介護にかかる将来像について問う。</p> <p>イ 特別養護老人ホームの増設が急務と考える。第6期支援計画では200床の計画が現在進行中だが、その増設に伴う課題は介護福祉士の確保である。平成27年12月定例会の一般質問時に保育士と同様な就学資金・家賃補助と共に、施設ごとの実状調査実施を提案したが、今後益々厳しくなると確実に予測される介護福祉士など介護従事者の確保のために、市はどう対応するのか。</p> <p>ウ 年々増加する認知症になる方を如何に少なくするか、また、その進み具合を抑えることを本市の試みとして、「その効果測定については今後の課題と考え、当然本市医師会とも連携して進めて行く必要がある」という現状認識に留まっている。」と平成27年12月定例会の答弁があったが、大牟田市の認知症への取り組み等を参考に、本市の認知症サポーター、認知症地域支援推進員の仕組みの更なるレベルアップを進め、認知症を地域で支援する体制を早急に構築すべきと考えるがどうか。</p> <p>エ 平成27年度より流山市シルバー人材センターを「総合事業」の担い手とする方針の下にスタートしたにも拘らず、「元気な高齢者にお手伝い頂くこのシステムも現状では未だ30数名の方が事業所に所属しているという環境である。今後もう少し周知徹底を行いこの担い手を増やすと同時に、利用者側にも解り易いサービスを周知できるようPRに努めたい。」ということだが、この総合事業を活用、定着させるための課題とその解決策について問う。</p> <p>(2) 高齢者の運転免許証自主返納について以下問う。</p> <p>ア 現在高齢者のドライバーの事故が目立つ一方で、運転免許証を自ら返納する高齢者も増えている。運転免許証を自主返納した高齢者には、運転免許証自主返納事業として、ながぼんカード2,000円分の進呈が実施されているが、その効果について問う。</p> <p>イ 運転免許証自主返納により「足の便」が無くなるという事から、グリーンバスの仮称、特別割引クーポン制度の導入や、市内公共バスを含めた交通機関の割引の協力要請をすべきと考えるがどうか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 幅広い世代に市政に興味を持ってもらう活動について</p>	<p>(1) 幅広い世代の市民が市政に興味を持って積極的に参加してもらうことで地域のつながりが強まると考えている。普段から地域で助け合う事で災害時などでも助け合える効果が期待できる。そこで以下について問う。</p> <p>ア 平成 2 9 年に市民投票条例の策定に向けて進めている準備の状況はどうか。</p> <p>イ 市内全般に関わる案件については市民投票が効果的である事に対して、案件の対象が一部の地域や世代等に限定される場合には、市民投票では適切でない場合がある。市民投票と合わせて住民協議会等の考え方を取り入れてはどうか。</p> <p>ウ 女性に比べて男性は地域コミュニティに入りづらい傾向が強い。年齢問わず、男性がより地域コミュニティに参加しやすくなる取り組みを強化してはどうか。</p> <p>エ 4 0 代以下の投票率を高めることで全体の投票率を上げられると考えているが、その取り組み状況はどうか。</p>
<p>2 おおたかの森小・中学校の更なる活用について</p>	<p>(1) 現在、おおたかの森小・中学校は最新の設備が整っているものの、「併設校」という扱いで特別な扱いにはなっていない。特別な学校として扱いを変更し、「義務教育学校」へ発展させる可能性について問う。</p> <p>ア 私立の小中学校を受験する児童生徒に対して流山市内で学べる公立小中学校を選択肢として提供できると考えるがどうか。</p> <p>イ 「義務教育学校」として一人の校長先生が小学校、中学校を統括することで、6・3 制の中 1 ギャップの少ない、一貫した教育ができると考えるがどうか。</p> <p>ウ 他の小中学校とは区別して、市内どこからでも通えるようにしてはどうか。</p>
<p>3 市内野球場の強化について</p>	<p>(1) 今までに何回も一般質問で取り上げられているように流山市の野球場は数、規模ともに不足していると感じている。そこで以下について問う。</p> <p>ア 市営野球場の観覧席設置の検討状況はどうか。</p> <p>イ スポーツフィールドは「多目的」とされているためか、野球場にピッチャーマウンドがない。スポーツフィールドの中にもピッチャーマウンドのある野球場を造るのが良いと思うがどうか。</p> <p>ウ 新たに計画されている調整池の活用による新規野球場設置は考えられないのか。</p> <p>エ おおたかの森スポーツフィールドの現状 2 面から 3 面以上への増設の可能性は考えられないのか。</p>

質問事項	要 旨
1 子育て支援について	<p>(1) B 型肝炎ウイルスの感染を防ぐワクチンについて、厚生労働省は今年 1 0 月にも従前の任意接種から予防接種法に基づく定期接種にする方針を固めた。これを受け、今後の B 型肝炎ワクチンに関する本市の取り組みについて当局の見解を問う。</p> <p>(2) チャイルドシートの無料貸出事業について、貸出期間を 3 カ月としているが、市民の中には例えば週末のみと言った短期間の貸出を望む声がある。新たに短期の貸出枠を拡充すべきと思うがどうか。</p>
2 防災対策について	<p>(1) 東日本大震災から間もなく 5 年を迎える。未曾有の震災を目の当たりにし、本市のこれまでの防災対策について、以下のとおり問う。</p> <p>ア 平成 2 7 年 3 月の所信表明では、東日本大震災以降の本市の防災対策については、「自助」を基本に「共助」を育て上げ「公助」で補完すると述べられている。その取り組みはどのように行われてきたのか。</p> <p>イ 市民の防災意識及び防災力向上のための今後の取り組みについて問う。</p>
3 安全対策について	<p>(1) 市内では昨年末から 1 月にかけて交通死亡事故が立て続けに発生し、1 月 1 7 日から 2 6 日まで「交通死亡事故多発警報」を発令した。頻発する交通死亡事故を未然に防ぐため、以下について問う。</p> <p>ア 最近の交通死亡事故の傾向をどのように捉えているのか。また、交通事故を減少するため、市が取り組むべき役割をどのように捉えているのか。</p> <p>イ 東深井や江戸川台といった既成住宅地内の道路では、路面標示が消えかかっている箇所が多く、早期の修繕を求める声が多い。早急に路面標示等の総点検を実施すると共に、関係機関に修繕依頼をすべきと思うがどうか。</p> <p>(2) 市道 2 6 9 号線の速度規制及び信号機の設置について</p> <p>(3) 流山おおたかの森駅自由通路の雨天時における歩行者の安全対策について、その後の進捗を問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 高齢化対策について</p>	<p>(1) 本市では、高齢者の生きがいづくりの創出や社会的孤立感の解消などを目的として、「流山市高齢者ふれあいの家事業」を実施している。今後益々高齢化が進む中で、徒歩で気軽に行かれる居場所づくりは、住み慣れた地域でお元気に暮らし続けていただくためにも大切な事業である。そこで、「流山市高齢者ふれあいの家事業」の現状と、今後の課題について問う。</p> <p>(2) 高齢者が多く利用する流山市内の公共施設である公民館や、福祉会館の中には、エレベーターが設置されていない施設や、高台に位置している施設など、足の弱った高齢者の方には、大変利用しづらい施設がある。今後益々、高齢者が利用しやすくするための配慮が必要になってくることから、そのような施設のバリアフリー化について、市としてどのように取り組んでいくのか、以下について見解を問う。</p> <p>ア 現在流山市内にある公民館のうち、北部公民館と東部公民館にはエレベーターが設置されていない。今後の設置計画はあるのか。</p> <p>イ 福祉会館については平屋の施設も多いが、江戸川台福祉会館については、2階建ての2階部分が地域ふれあいセンターとなっており、今後のエレベーター設置計画はあるのか。また、野々下福祉会館は、高台に建っており、急な階段か急な坂を登らなければ会館に行かれない。今後の高齢化に対する対応策について問う。</p>
<p>2 市制施行50周年を記念した事業について</p>	<p>(1) 流山市は、平成29年1月に市制施行50周年を迎える。流山市の歴史に残る節目の年であり、多くの市民と50周年を祝うとともに、流山市への郷土愛を育む良い機会となることから、提案も含め、以下について問う。</p> <p>ア 市制施行50周年記念のイベントとして、どのようなことを企画しているのか。</p> <p>イ 長野県安曇野市や埼玉県和光市など、市制施行の節目の年を記念して、原動機付自転車の独自ナンバープレートを交付している。市制施行50周年を記念した新たな「ご当地ナンバープレート」を作成してはどうか。</p> <p>ウ 流山市で結婚されるカップルに、お祝いの気持ちを込めて、夢のあるデザインをあしらった婚姻届を作製してはどうか。</p> <p>エ 以前、つくばエクスプレス開業時に、流山おおたかの森駅において、公募で選ばれたカップルが結婚式を挙げ、一生の思い出になったと大変喜ばれた。市制施行50周年記念イベントとして、例えば、公募で選ばれたカップルに、議場などで、婚姻届の署名式を行ってはどうか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 マーケティング戦略と商業・観光振興策について</p>	<p>(1) おおたかの森 S C 内の日曜情報センターの現状について問う。</p> <p>(2) 普通の高中生がろこどるやってみたというコミック漫画のイラストのついた絵皿をふるさと納税の返礼品に作成しているが、このアニメのキャラクター戦略を今後どのように展開するつもりであるのか。</p> <p>(3) マーケティング課では交流人口を増やすために、様々な政策について取り組んでいるが、交流人口が増え、市内に市外からの消費活動が進んでいるという目的は達成されているのか。それをどのような指標で分析をしているのか。</p>
<p>2 事業の市民や議会への説明責任について</p>	<p>(1) 市の財源を使って改装し、その後の家賃補助をしている、流山本町の古民家店舗については、その経営が悪く、中には閉店しているものがある。これらについて市からの説明がないのは何故か。</p> <p>(2) 市が行っている事業の経過や結果について議会や市民に対しての説明が不足しているように感じているが、当局の見解を問う。</p>
<p>3 市民参加のまちづくりについて</p>	<p>(1) 都市計画マスタープランの見直しについては市民協議会委員を公募しているが、市民協議会はどのような役割を果たしていくのか。</p> <p>(2) 市民参加の前提条件として市と市民、市議会の情報の共有を市民参加条例の第 3 条第 2 項で定めているが、市は市民、市議会との十分な情報共有がされるよう、どのような工夫をしているのか。</p> <p>(3) 流山市は市民が市政参加できるまちとして市長自らが行ってきたが、市民参加条例の第 3 条第 1 項に市民参加は政策形成のできるだけ早い時期から行われなければならない。と明記されているが、政策形成のできるだけ早い時期というのを当局はどう理解しているのか。</p>

質問事項	要 旨
1 地域防災計画の充実・強化について	(1) 避難所・避難場所となっている県立高校への防災備蓄倉庫設置について
2 子育て支援の充実について	<p>(1) 少子化対策に逆行するだけにとどまらず、子育て世代の家計の実態からも、保育料の値上げはすべきではないと考えるがどうか。また 2014 年度まで実施していた年少扶養控除を含めた保育料算定にし、負担を軽減すべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 非婚のシングルマザーに対する保育料等への寡婦控除のみなし適用について</p> <p>(3) 児童扶養手当・特別児童扶養手当受給世帯に対する支援策について</p> <p>(4) 私立園児補助金等について、保護者への直接振込にするなど私立幼稚園運営者及び私立幼稚園に通う子どもや保護者の要求実現について</p> <p>(5) 学童保育の所管が子ども家庭課から教育委員会へ移管されるが、長年積み重ねてきた『保育』が保証されるのか、教育委員会における『保育』とはどのようなものか。</p>
3 TX 沿線巨大開発について	<p>(1) 新市街地地区について問う。</p> <p>ア 現在の進捗について</p> <p>イ 地区内におけるマンションや戸建て住宅の建設計画にともなう学区変更や校舎等の増築など小中学校への影響について</p> <p>ウ 市有地活用策も含め流山おおたかの森駅周辺のセンター地区における今後の整備について</p>
4 雇用政策について	<p>(1) 政府が掲げる『同一労働・同一賃金』について市長の見解を問う。</p> <p>(2) 働く人が大切にされてこそ、企業も、産業も、経済も発展すると考えるが、雇用の確保・安定にむけた取り組みについて</p> <p>(3) 公共工事における設計労務単価について、2013 年以降、国土交通省は連続的に引き上げており、本市では発注契約に係る労働環境確認に関する要綱を策定し、賃金における不正な買いたたきを防止するなどの取り組みを推進してきたが、公的サービスを担っている各種の民間委託事業者及び指定管理者等により雇用されている労働者については、賃金も含め労働環境の向上にどのように対応をしているのか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 流山おおたかの森駅周辺のまちづくりについて</p>	<p>(1) 流山おおたかの森駅北口のデッキと一階を繋ぐエレベーターを設置してはどうか。</p> <p>(2) 母子保健の観点から、流山おおたかの森駅周辺の公共施設に保健師をおいてはどうか。</p>
<p>2 地域包括ケアシステムについて</p>	<p>(1) 生活支援サービス従事者研修に関して問う。</p> <p>ア 利用促進のため、サービスの広報を強化してはどうか。</p> <p>イ さらに幅広い層に従事者に取り入れるため、研修の広報を強化してはどうか。</p> <p>ウ 自治会懇談会にて、自治会役員等に対して、サービスを説明する機会を設けてはどうか。</p> <p>エ 国に介護支援特区の申請を行うことで、サービスの対象者を要支援から要介護 1・2 まで伸ばしてはどうか。</p> <p>(2) 流山市地域支え合い活動推進条例の施行に伴って、新たに見出された課題はあるか。</p> <p>(3) 地域包括ケアシステムの実現に向けて問う。</p> <p>ア 庁内で、コミュニティ課と福祉関連各課が、定期的な情報を共有する機会を作ってはどうか。</p> <p>イ 自治会に対して、効率的に情報を提供するため、任意で参加できる講演会や勉強会を定期的に行ってはどうか。</p>
<p>3 消防力の強化について</p>	<p>(1) 現在、市内には 4 消防署あるが、1 署増設し、5 消防署としてはどうか。</p> <p>(2) 市内の救急隊は 5 隊体制であるが、1 隊増やし、市内全体で 6 隊体制としてはどうか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 障害者総合支援法について</p>	<p>(1) 障害者総合支援法第7条により、65才になると「介護保険優先原則」によって、サービス減や負担増など障害者の生活不安の訴えが全国で問題になっているが、流山市の実施状況について問う。</p> <p>(2) 2007年3月「障害者自立支援法に基づく自立支援給付と介護保険制度との適用関係等について」を通知し、「介護保険優先原則」を基本としながらも、障害者福祉の支給が適切な場合は自立支援給付を適用し、もしくは両制度を併用するなどの対応も可能としている。流山市はこの通知に基づいて実施しているのか問う。</p>
<p>2 児童扶養手当などの公的手当について</p>	<p>(1) 児童扶養手当等の公的手当の支給方法について問う。</p>
<p>3 特別支援教育について</p>	<p>(1) 特別支援教育の現状と特別支援に関する基本方針について、どのように捉えているのか問う。</p> <p>(2) 教育基本法第4条第2項では、「国及び地方公共団体は、障害のある者が、その障害の状態に応じ、十分な教育を受けられるよう、教育上必要な支援を講じなければならない。」となっている。流山市の特別支援学級がいまだ開設されていない小学校は4校あり、情緒障害学級は小学校16校中2校、中学校は通級1校のみである。「障害の状態に応じ」た特別支援学級を、直ちに設置すべきではないか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 今年から実施される 18 歳選挙権への対応について</p>	<p>(1) 今回の法改正をどう受け止めたか、また、流山市としての対応策について問う。</p> <p>(2) 高校生の政治への知識・関心を向上させる上で、学校内外の政治活動への参加を規制すべきではないと思うがどうか。</p> <p>(3) 若い人の投票率を高めるため、期日前投票所を大学内等に設置することや、投票所の改善を推進することについて問う。</p>
<p>2 市内公立小中学校の老朽校舎の改築・改修計画について</p>	<p>(1) 流山市内の公立小中学校の施設の格差是正を求める議会決議をどう受け止めたのか。</p> <p>(2) 流山市内の公立小中学校の簡易劣化調査の結果とその評価、調査結果に基づく改築・改修計画について問う。</p> <p>(3) 江戸川台小学校等、築 50 年を超える校舎の改築・改修を緊急課題と位置付けているか。</p>
<p>3 市内産業振興について</p>	<p>(1) 市内産業の現状について、どのような評価をしているか。</p> <p>(2) 市内商工業者実態調査や商圈調査で明らかにされた課題への対策は順調に進んでいると言えるか。</p> <p>(3) 「創業するなら流山市」と言うなら、創業支援施策を大きく改善・拡充すべきではないか。</p> <p>(4) 市内事業者の努力が生きる施策、意欲を引き出すための施策について問う。</p>
<p>4 流山おおたかの森駅自由通路の広告について</p>	<p>(1) 自衛隊員募集広告に対する市民の声をどう受け止めるか。</p> <p>(2) 掲出基準や平和都市宣言の市としてふさわしいと言えるか。</p>

質問事項	要 旨
1 地域医療について	(1) 小児救急の深刻な実態について、「今後、財政や優先順位などについて市全体の中で考えたい」との市長答弁があったが、どのような対策・方向性が検討されているのか。
2 貧困対策について	(1) わが国は先進国の中で「貧困大国」といわれているが、市長は現状をどう認識しているのか。 (2) 「生活困窮者自立支援法」、「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が制定されたが、流山市政の中で貧困対策をどう位置付け、どのような施策を推進していくのか。 (3) 社会福祉法にもとづき医療機関が実施する無料低額診療の周知と無料低額診療事業調剤処方費用助成事業の創設について (4) 国民健康保険における低所得者対策について ア 所得なし世帯における保険料軽減について イ 国民健康保険法第44条にもとづく医療費窓口負担減免の現状と利用促進について
3 新川耕地の開発と農業振興について	(1) 民間による物流センター建設や市が計画するスポーツフィールド、排水計画など、新川耕地における開発の全体像について問う。 (2) 新川耕地開発により農業経営や交通問題など周辺環境にどんな影響が出てくると想定しているのか。 (3) 流山市農業における新川耕地の位置づけと今後の農業振興策について
4 南部地域のまちづくりについて	(1) 4月以降の新市民総合体育館、新病院のオープンにより流山セントラルパーク駅周辺への交通需要が著しく増大するが、グリーンバス、路線バスなど交通アクセスはどうか改善されるのか。

質問事項	要 旨
<p>1 マンション管理組合との協働する仕組みづくりについて</p>	<p>(1) 流山市では大規模マンションが多く建設されているが行政との連携や地域間連携、住民自治推進の観点から、マンション管理組合と協働する仕組み作りが必要だと思うが、その仕組みづくりについて市当局の見解を問う。</p>
<p>2 50年後も価値が落ちない街づくりについて</p>	<p>(1) 住宅が資産化する仕組みづくり「子育てにやさしいマンション認定制度」について、市当局の見解を問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 保育所の質の向上について</p>	<p>(1)平成 16 年 5 月の厚生労働省からの通知以後、福祉サービス第三者評価が本格的に推進されている。施設や事業所としての受審は任意ではあるが、サービスの質の向上のためには、事業者の積極的な受審が望まれる。以下、当局の見解を問う。</p> <p>ア 「母になるなら、流山市。」と謳っているように、子育てのまちを標榜する流山市は保育所の質の向上に対し、どのような対策をとっているのか。</p> <p>イ 当市の保育所第三者評価の受審状況は進んでいないと仄聞する。この状況を踏まえ、第三者評価の必要性について、当局の見解を問う。</p> <p>ウ 保育所の質の向上について、今後、当市はどのような施策をとるのか、見解を問う。</p>
<p>2 グリーンバス事業について</p>	<p>(1)今春、流山セントラルパーク駅周辺の施設が次々に完成する。特に病院、新市民総合体育館の完成によって、市内各地域から施設利用の希望の声が強いが、既存の交通システムではアクセスが不便な地域がある。本来、公共施設、病院へのアクセスに関して行政の配慮があつてしかるべきであると考えるが、当局の見解を問う。</p> <p>ア 流山セントラルパーク駅を拠点とするバス交通網が乏しいが、その理由と今後のグリーンバス計画について問う。</p> <p>イ 向小金・前ヶ崎地域移動実態調査の有効性について問う。</p> <p>ウ 高齢者が急増する中、バス交通は単なる駅への公共交通としてだけでなく、福祉政策としてもとらえるべきと考えるが、当局の見解を問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 市長の政治姿勢について</p>	<p>(1) 施行から 70 年間、日本の平和と国民の暮らしや人権を守る拠り所となり、社会経済の発展の基盤となってきた日本国憲法を変えようという動きが強まっている。従来からの議論の焦点は憲法第 9 条の改正、そして現在は新たに緊急事態条項の創設の議論が加わりつつある。市長は憲法第 9 条の改正と緊急事態条項の追加についてどのように考えるか。</p> <p>(2) 日本国憲法第 10 章第 99 条は「天皇又は摂政及び国務大臣、国会議員、裁判官その他の公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負ふ」としている。この公務員の憲法尊重擁護義務が日本国憲法に盛り込まれた背景や意義を市長はどのように理解しているか。</p>
<p>2 デジタルサイネージでの広告宣伝のあり方について</p>	<p>(1) 市は流山おおたかの森駅自由通路などにデジタルサイネージを設置しているが、そのファシリティマネジメント上の意義、またシティセールスプロモーション上の位置づけはどのようなものか。</p> <p>(2) デジタルサイネージの運営は民間の広告事業者に委託しているが、広告宣伝の依頼主の適否はどこがどのように決定しているか。また広告宣伝のコンテンツ(中身)はどこが作成し、その内容の是非はどこが判断しているか。</p> <p>(3) 流山おおたかの森駅自由通路のデジタルサイネージなどで、戦闘用の迷彩服を着、顔に偽装メイクをして匍匐前進をする訓練姿などを映した自衛隊員募集の宣伝広告が、日に何度も、繰り返し繰り返し流されている。そのことの是非を具体的な映像内容も含めて市はどのように考えているか。</p>
<p>3 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の流山市における具体化について</p>	<p>(1) 障害者差別解消法の意義をどのように捉えているか。</p> <p>(2) 2016 年 4 月からの障害者差別解消法の施行に向けて市はどのような取り組みを行っているか。以下の諸点について問う。</p> <p>ア 対応要領や職員の服務規律の策定状況はどうか。</p> <p>イ 相談及び紛争の防止のための体制の整備の状況はどうか。</p> <p>ウ 啓発活動はどのように計画され、また実施されているか。</p> <p>エ 障害者差別解消支援地域協議会の組織化の準備状況はどうか。</p> <p>オ 流山市独自の「横出し」、「上乘せ」の事業は検討しているかどうか。</p> <p>カ 障害者差別解消法に対応した市の条例制定の考えはあるか。</p> <p>キ 上記の業務の準備やその後の業務の遂行に必要とされる人員の確保をどのように進めているか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 住宅政策について</p>	<p>(1) 全国の中でも高い人口増加率を誇る当市であるが、今後の住宅政策に関しても総合的な方向性を市民に示す必要があると思われる。そこで以下 3 点について問う。</p> <p>ア 近年の新規住宅着工数の傾向はどのような状況か。また空き家の増加数はどのような状況か。</p> <p>イ 流山市高齢者住み替え支援制度の運用状況や成果についてはどのような状況か。</p> <p>ウ 過去にも提言をしてきたリバースモーゲージ制度の導入の可能性について当局の見解を改めて問う。</p>
<p>2 財務会計について</p>	<p>(1) 歳計現金をはじめ基金、有価証券、担保物件等の保管の現状と課題、そして更なる公金の安全管理策について問う。</p> <p>(2) 日本銀行が行った「マイナス金利政策」について、当市に与える影響はどのようなものがあるのか。</p>
<p>3 コミュニティの強化と活性化策について</p>	<p>(1) コミュニティの姿は時代に応じて変化していくものと捉えていく向きもあるが、一方で自治力を向上させるためには、様々なコミュニティの姿を追究していく必要もある。そこで以下 3 点について問う。</p> <p>ア 地域コミュニティと公立の小学校区との連携に関して、当局の基本的な見解を問う。</p> <p>イ 流山市内にある公立高校と地域コミュニティの連携について、より充実強化を図るべきと思うがどうか。</p> <p>ウ 広域的、政策による問題解決型コミュニティづくりの課題の一つとしては組織づくりや運営資金における課題が多いと仄聞している。そこで目的を明確にした助成金制度の導入の可能性について問う。</p>